

## 日本短角種産肉能力検定（直接法）成績

（畜試 肉牛部）

### 1. 背景とねらい

日本短角種の産肉能力等経済性の向上を図るため、計画交配により優れた能力を備えた種牛を生産確保し、その効率的利用により集団的な育種改良を推進するために「日本短角種集団育種推進事業」が実施されている。

同事業で実施した平成7年度分直接検定成績を改良指導のための参考に供する。

### 2. 技術の内容

- (1) 7年度検定頭数は第1期20頭、第2期14頭の計34頭であった。検定終了後の供用頭数は17頭で、供用率50.0%であった。
- (2) 検定牛の1日当たり平均増体量（DG）は、第1期1.37kg、第2期1.20kgであった。
- (3) 検定成績、選抜指数値、血統、体型等を比較検討し、平成10年度間接検定開始予定牛5頭（1号牛：豊久、2：若鯨、7：角藤、20：昭定、31：高福）を選抜した。
- (4) 間接検定実施予定牛と同年度終了牛の選抜差は、DG +0.13kg、皮下脂肪厚（8部位合計）-4.2mm、選抜指数値 +3.82であった。

### 3. 指導上の留意事項

#### (1) 直接検定方法

##### 期 間

第1期 単房 平成7年10月24日～平成8年3月12日（140日）

第2期 群房 平成7年11月7日～平成8年3月26日（140日）

##### 飼 料

濃厚飼料 産肉能力検定飼料（DM 87.6% DCP 10.5% TDN 73.0%）

メタボリックボディーサイズ当り 6.3%制限給与

粗飼料 乾草飽食（DM 83.2% DCP 6.1% TDN 49.4%）

##### 飼養方法等

単飼 6時間/日牛房付設パドックで運動

群飼（4～5頭1群） 6時間/日牛房付設パドックで運動

#### (2) 検定合格牛

同年度の検定牛について、選抜指数値による総合判定を行い、上位1/2の優良なものとしている。

#### (3) 選抜指数値の求め方

次の選抜指数式により求める。

選抜指数値  $I = 21.749 \times (DG) - 0.254 \times (\text{皮下脂肪厚}) + 10$

皮下脂肪厚：皮下脂肪厚 8 部位の合計（超音波肉質診断装置で測定）

(4) 検定牛の選抜の際には、父母牛の産肉成績についても考慮している。

(5) 超音波肉質測定成績の優れた母牛と、産肉能力の優れた父牛の計画交配を推進している。

#### 4. 試験成績の概要

##### 供用牛の概要

検定 No.	名号	父	母方 祖父	産地	DG (kg)	皮下 脂肪厚 (mm)	選抜 指数値	合間 格 検	貸付先
1	豊久	山久	笹豊	釜石市	1.50	89	20.07	○ ○	栗橋牧野農協
2	若鯨	山久	杉富	山形村	1.41	88	18.25	○ ○	畜試保留
5	幸雲	幸玉1742	雲光	岩泉町	1.28	84	16.42	○	岩泉町農協
6	琴成	琴頼1019	清房	岩泉町	1.38	83	18.85	○	岩泉町農協
7	角藤	藤王	若里	岩泉町	1.55	83	22.68	○ ○	安代町農協
12	上山	山久	琴頼1019	玉山村	1.30	107	10.99		陸中農協
13	若笹	若花	笹豊	釜石市	1.53	103	17.03	○	滝沢村
15	国錦	善光	若花	川井村	1.59	111	16.29	○	浄法寺町
17	秋藤	藤秋	畑藤	玉山村	1.40	91	17.23	○	陸中農協
18	福波	房錦	若里	岩泉町	1.55	94	19.78	○	川井村
20	昭定	大幸	昭波89	盛岡市	1.56	89	21.26	○ ○	川井村
21	大豊	善光	若花	川井村	1.31	92	15.06		岩泉町農協
22	波幸	幸玉1742	大幸	山形村	1.24	82	16.10	○	栗橋牧野農協
23	川中	川福	笹福	公社	0.94	89	7.74		肉牛生産公社
26	波崎	波幸	浦崎	浄法寺町	1.38	96	15.55	○	葛巻町農協
28	春玉	琴桜	崎橋	山形村	1.38	98	15.14		浄法寺町
31	高福	川福	正福52	玉山村	1.12	86	12.55	○ ○	畜試保留
同年度検定牛の平均					1.30	91	15.14		
供用牛の平均					1.38	92	16.53		
間接検定予定牛の平均					1.43	87	18.96		